

私たちを はぐくみ 育ててくれる 母なる大地 夜久野町

夜久野自治会だより

第30号

平成26年
3月号



おもな内容

会長あいさつ.....	2
総会報告.....	2・3
やくの玄武岩公園.....	4
まちかどフォト.....	5
輝く夜久野の子どもたち.....	6・7
まごころ銀行(ふるさと基金).....	8

伝統行事を今に伝えるコト行事

(写真は、西の谷)

(5ページに関連記事)



たいへんお世話になりました

夜久野町連合自治会 会長 荒木 光雅

退任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
日増しに暖かくなりましたが、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この一年、連合自治会の会長を力不足ながら無事務めることができたのも、皆様の御支援とご協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

今年度の目標は、地域の皆様が、安全で安心して暮らせる「夜久野」をつくることでした。その一つが、「若者定住促進事業」の推進であり、昨年四月開校した「夜久野学園」においては、「共に幸せを生きる力の育成」を教育目標に先生方の熱心な指導のもと一年生から九年生の二百三名の児童・生徒が学んでおり、三月には、二十四名の生徒が巣立っていきます。

自治会よりの要望実現に向けた取り組みとしては、小倉自治会から「九号線から府道上夜久野停車場線の拡幅」要望を「地域主導型公共事業」として提案し、京都府中丹西土木事務所の指導のもと、福知山市役所夜久野支所と連携によりプレゼンテーションを行い、審査の結果採択されました。今後は、夜久野高原の観光開発と一体化し、関係者と協議を行い、事業を成功させなければなりません。

また、福知山市長より提案があった、「支所の在り方」「地域の活性化」「小学校跡地の活用」については、連合自治会三役で検討した結果、全自治会に対して意見を求め、その結果をまとめて市長に報告しました。皆様から頂いた貴重なご意見は、今後、連合自治会として問題意識を常に持ち、住民の皆様とも協議を行い取り組みに役立てたく思っています。

以上のほか、たくさん課題がありますが、それらを実現・解決していくためには、住民が直接参加できる組織をつくる必要があります。連合自治会はその先頭に立たなくてはなりません。今後とも、連合自治会の活動にご理解を賜り、皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

最後に、夜久野のますますの発展と皆様のご健勝をお祈りしまして、退任の挨拶とさせていただきます。

平成二十五年度 定期総会

活動報告

一、安全で安心な町づくり

(1) 自主防災組織が未結成の自治会に結成を促進
今年度新たに三自治会が結成され、計二十七自治会になりました。今後も全自治会での結成に向けた取り組みを進めなければなりません。
(2) 民生児童委員との連携による防災訓練の実施
要配慮者の把握・支援体制の確立(災害時一人も見逃さない運動)

市役所からの要請があり、各自治会で取り組んでいたことができました。

二、若者定住推進事業

(1) 吊り下げ看板の活用(福知山市商工会所有の額田広告塔への掲示)
特に具体的な取り組みができませんでした。

(2) 市営住宅の建設要望

三小学校跡地等の有効活用の報告に盛り込みました。

(3) 夜久野学園の児童・生徒への「ふるさとアンケート」を検討
十一月に学園の協力により七・九年生(中学生)に対してアンケートを実施しました。今後、その結果を検討し、「若者定住推進事業」の活動に役立てなければなりません。

三、夜久野学園開校に伴う三小学校跡地等の有効活用
自治会の意見を取りまとめ福知山市長に報告しました。

四、公民館活動への積極的な参加と支援

(1) 公民館との連携による活力ある「町づくり」
健康環境委員研修・人権推進委員研修・まちづくり学習に参加

燃料油
潤滑油

(有)藤本石油夜久野給油所

〒629-1311 京都府福知山市夜久野町日置1104
TEL (0773)37-0805 FAX 37-1170

野菜の育種 野菜苗

有限会社 夜久野育種農場

〒629-1323 京都府福知山市夜久野町板生29
TEL&FAX(0773)38-1235 E-mail:globot@mx.a.nkansai.ne.jp

平成25年度・夜久野町連合自治会 会計報告書(中間)

◎一般会計

平成25年4月1日～平成26年2月21日

〈収入の部〉

単位：円

科 目	25年度予算額	25年度決算額	増 減	摘 要
繰 越 金	67,024	67,024	0	前年度より繰越金
会 費	672,500	659,500	- 13,000	500円×1,319戸
協 賛 金	200,000	205,000	5,000	27企業・団体
繰 入 金	0	0	0	
雑 収 入	50	41	- 9	預金利息
合 計	939,574	931,565	- 8,009	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	25年度予算額	25年度決算額	増 減	摘 要
会 議 費	25,000	8,750	- 16,250	総会(お茶)、中地区公民館使用料
通 信 交 通 費	25,000	34,500	9,500	切手・はがき、郵送料、旅費
事 務 費	35,000	32,959	- 2,041	ゴム印等事務用品、インク代
事 業 費	850,000	744,550	- 105,450	自治会だより(242,550円) ゴミカレンダー(42,000円) プール支援(100,000円) 事務局委託費(360,000円)
繰 出 金	0	0	0	
予 備 費	4,574	0	- 4,574	
合 計	939,574	820,759	- 118,815	

(収入) 931,565円 - (支出) 820,759円 = (差引残高) 110,806円

◎特別会計

府中丹西土木事務所と業務委託契約を締結し、委託料9,165,440円を44自治会に配分しました。

※ 年度末の決算につきましては、自治会だより第31号で報告します。

- 下・中・上地区で「運動会」を実施しました。
- (2) 文化活動等を通して生きがいづくりへの支援
ふれあいいきいきフェスタ(公民館まつり)
の実行委員会に参画しました。
- (3) 下・中・上地区公民館の自治会運営体制の確立
各公民館の行事に参加しました。
- 五、夜久野地域河川掃除の委託契約
今年度も、京都府(中丹西土木事務所)との「牧
川河川掃除委託契約」を締結し、各自治会に支
払いをしました。
- 六、夜久野地域の子供と高齢者の安全確保
(1) 夏季期間中の元小学校プールの監視・管理への
財政支援
プール運営委員会で協議のうえ財政支援をし
ました。
- (2) 地域住民(特に子供・高齢者)の安全・安心の
ための声かけ運動、パトロールへの支援
連合としての具体的な取り組みができませんで
した。
- 七、地域住民・自治会とのコミュニケーションの充実
(1) 全自治会に行事等のアンケートを実施し、たく
さんの情報をいただき、その情報をもとに「夜
久野自治会だより」を年四回発行することがで
きました。
- (2) 「家庭ゴミ収集カレンダー」を作成し、全戸に
配布しました。
- 八、自治会活動保険の加入
自治会活動保険の加入の継続契約を締結しまし
た。
- 九、連合自治会としての要望実現に向けた取り組み
小倉自治会の要望事項を「地域主導型公共事業」
として取り組み、事業採択を勝ち取りました。
(夜久野自治会だより第二十九号、参照)
- 以上報告いたします

JAは夜久野自治会を応援しています。住みよい町づくりは住民の結集から。

豊かな暮らしの応援団  JA京都 **にのくに** 夜久野支店

おめでとう! やくの玄武岩公園

～京都府景観資産に登録～

このほど、小倉の玄武岩公園が京都府景観資産に登録されました。

京都府景観資産とは、地域固有の歴史や文化に裏打ちされた府内各地の身近な景観とその景観を支えている地域の活動を合わせて登録するものです。

平成24年度から小倉自治会が、福知山市や京都府と協議・現地見学・学習会等を重ね、昨年12月18日登録証の交付を受けました。

登録に向けての取り組み

平成24年

7月20日 小倉自治会、京都府、福知山市が、景観資産登録制度について協議

9月27日 小倉自治会、福知山市が、保存活用計画書の作成について協議

11月27日 景観資産登録提案書及び保存活用計画書を提出

平成25年

1月8日 第16回京都府景観審議会において予備登録となる

3月19日 小倉自治会、京都府、福知山市が、登録に向けての課題及び今後のスケジュールについて協議

6月18日 小倉自治会、福知山市が、保存活用計画書の作成について協議

6月25日 小倉自治会、福知山市が、保存活用計画書の作成について協議

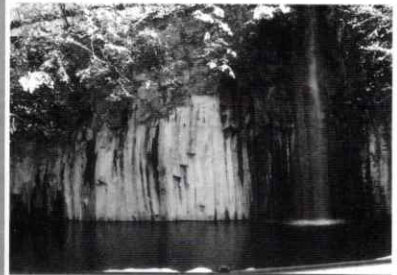
9月28日 京都府景観アドバイザーの門内輝行氏を招いて、小倉自治会、京都府、福知山市が、現地見学、学習会を行う

10月4日 小倉自治会、福知山市が、保存活用計画書の作成について協議

10月24日 第17回京都府景観審議会において登録に支障なしとの答申

12月17日 京都府景観資産に登録

12月18日 京都府景観資産登録証交付式にて、小倉自治会に登録証を交付してもらう



小倉石切場後の柱状・板状節理。

36万年前溶岩が噴出してできた。

平成17年には、京都府の天然記念物にも指定。

小倉自治会

今後の抱負

- ・やくの玄武岩公園一帯の自然景観を活用した地域の活性化を目指し、さまざまな主体と連携しながら、やくの玄武岩公園を地域活動の舞台として活用し、地域の魅力を発信することにより地域の活力を高めていきたい。
- ・地質学的にも価値の高い美しい玄武岩の柱状・板状節理はもとより、自然がおりなす豊かな四季折々の姿、地域活性化イベントなど地域の魅力を京都府や福知山市の協力のもと広くPRして、多くの人に来ていただきたい。



- ・地元の小・中学校等と連携して、課外授業、環境学習の場所として活用してもらう中で郷土愛、環境教育の推進を進めていきたい。
- ・やくの玄武岩公園一帯の環境整備として地元の幸福会による清掃活動を月1回してもらったり、他の団体にも協力してもらっているが、今後多くの人に来てもらうためには安全対策面や訪れた人がくつろげる場所等が必要となってくる。福知山市、京都府の支援により全体的な整備をしていただき、人と人とのつながりの場、訪れた人が本当に満足していただけるような場となるようにしたい。



まちがどつオト



伝統行事を今に伝える

直見中営農組合



どんど

小正月の行事「どんど」が、直見中（大峠・桑谷・西垣）では、今年も盛大におこなわれました。

年末に共同で作った巨大門松を中心に、孟宗竹を加えて、6メートルもあるりっぱな「どんど」が作られます。各家庭の正月飾りや書初めも持参し、子どもたちから高齢者まで、火を囲んで会食し、楽しく過ごしました。

金尾自治会



わらで、大きな「足中ぞうり（半分だけのぞうり）」と小さな「豆ぞうり」を編み、小さな杵と臼と宝船を作る、それらを高い木に吊り下げ、1年間の無病息災などを願います。

そして、餅つきをして挽き立てのきなこをまぶして食べ、今年の事始めを祝いました。

コト

西の谷自治会



昔ながらの形を守り続ける金尾と西の谷のコト。

文化財を火災から守る！



昭和24年の法隆寺金堂壁画が焼損した日にちなんで制定された「文化財防火デー」の取り組みとして文化財消火訓練が行われました。

農匠の郷において、消防団上夜久野分団の指導のもとで実施。自治会長をはじめ上夜久野住民が化石資料館・木と漆の館職員と役割分担しながら、初期消火・文化財の搬出等の作業を訓練しました。

上田自動車整備工場

（各種自動車販売・車検）

福知山市夜久野町平野327 TEL 38-0033

木材製品販売（有）佐藤商事

（代表取締役 佐藤良郎）

（建築請負）TEL 38-0043 FAX 38-0151 平野513

輝く夜久野の子どもたち

夜久野学園

「英語で遊ぶ」 in Yakuno」

夜久野学園では、現代社会を生きぬくために、様々な人々と関わっていきこうとする力を養うために英会話の習得を目指しています。

学年によつて時間数は違いますが、現在、1年生から9年生までが英語の学習をしています。

そこで今回は、英会話の学習に焦点を当てた取組を紹介します。

1月25日(土)、フレッシュサタデー「英語ですぐ」そう「Yakuno」を開催しました。当日は、英語が話せる外国の方や海外生活経験のある日本の方13名を招いて、1年生から9年生までを12の異年齢の班に分けて、英語で自己紹介やゲームをして、グストと仲良くなりました。



これまで9年生を中心に班活動を行ってきたが、今回は8年生がバトンを受け、班活動の準備や当日の進行を務めました。これからの学園を引っ張っていくリーダーとして頼もしい姿が見られました。



上夜久野保育園 下夜久野保育園

伸びる芽を持ち・力を蓄えている

夜久野の子ども達

春・新入園児も保育園に慣れた頃遠足に行きました。のんびり広場で食べたお弁当は美味しかったですね。4・5才さんは、宝山へも登りました。急な登り坂になっても、強い心と丈夫な体で頂上を制覇しました。

夏・毎日の水遊びは、プールに入り、板生川や牧川でメダカすくいをしたり、石投げをしたりしました。

遊び疲れて全員で仲良くお昼寝をしました。

秋・天気にも恵まれて、カ一杯走った運動会は最後まであきらめずにゴールしました。広い畑と大きくて沢山のさつま芋に驚きながら、楽しくさつま芋ほりもしました。



松田電器

TEL 37-0043 FAX 37-0043

日本工業規格認定品石州瓦販売施工

天田瓦店

代表者 塚脇 英雄

夜久野町額田

☎ 37-1025

FAX 37-1025

さて、子どもたちはどんな感想を持ったのでしょうか。

- ・初め、外国の人が教室に入ってきたときは、とてもきんちょうしたけど、にこにこわらってくれたのでよかったです。
- ・発音をほめてもらって嬉しかったです。
- ・英語が通じて自信が持てました。
- ・今日言いたいことが言えなかったから、今度はちゃんと伝えたいです。

参観に来られた保護者の皆様からも感想をいただいています。

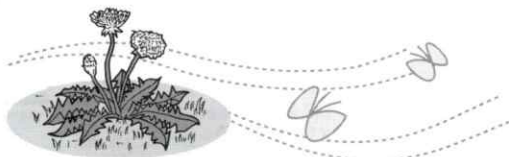
- ・本物の発音を聴く機会は少ないと思うので、とてもよい勉強になる時間だと思います。会話の中で文法が耳に入りますし、楽しみながら学習できるので頻繁にやってもらいたいです。
- ・日常的に外国人の方との交流があればいいなと思いました。内容もいろいろ工夫されていてよかったです。

- ・子どもたち（中学生）を中心に頑張っていました。外国の方との英会話になれるよう回数を重ねていくことが大事ですね。これからもこのような活動を希望します。



突然出会った外国の人と仲良くなった
り、会話をしたりすることは難しいです。
急に一步は踏み出せません。学園では、
今後日常的な英語の授業に加え、英語が
話せるちよっとした取組を積み重ねて、
自分から外国の人とコミュニケーション
が図れる子どもを育てるための取組を進
めていきます。

冬・発表会では、堂々と台詞を言い拍手
喝采でした。そり遊びや雪遊びも大好きで
した。人情と自然豊かな夜久野の里で、四
季折々、子ども達は色々な経験をしながら
大きく、たくましく育っています。私達は
自分の周りにいる人に優しく、困っている
人がいたら助けてあげる、自分の感じた事
や思った事が話せる人に育ってほしいと願
いながら毎日保育をさせていただいていま
す。地域の皆様へは、今後も保育園との交
流を多く持
っていただ
く事をお願
いしながら
日頃の御支
援御協力に
対しまして
厚くお礼申
し上げます。



この街と生きていく

京都北都信用金庫額田支店

TEL 37-0051 FAX 37-1158

平成25年度 「夜久野ふるさと基金」 事業報告（中間）

夜久野ふるさと基金
運営委員会委員長 荒木 光雅

「夜久野ふるさと基金」に対し今年度も多くの皆様から篤志を寄せていただき、心より厚くお礼を申し上げます。今年度も夜久野地域の福祉・文化及び自治会活動等を積極的に支援するため、下記の事業に活用させていただきました。

今後とも篤志を寄せていただきました方々のご厚情に沿い、夜久野地域の更なる発展に寄与する運営に心がけたく存じます。

どうか今後とも変わらぬご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

記

- (1) 自治会活動支援として、夜久野町連合自治会の自治会保険の加入支援
- (2) 夜久野学園にタブレット端末（6台）の寄贈
- (3) 福知山防犯推進委員協議会夜久野支部の安心・安全のまちづくり事業支援
- (4) 園児の健やかな成長を願い、上夜久野保育園に「竹馬整備台」を、下夜久野保育園に園児用丸テーブル・椅子の寄贈
- (5) 地域で広く活用いただくために、夜久野地域公民館運営協議会にパウチ機「MSパウチ（A3サイズ対応）」の寄贈

平成25年度 夜久野ふるさと基金決算書（中間）

3月3日現在

【収入の部】

（単位円）

項目	金額	備考
繰越金	886,692	H24年度繰越金
寄付金	975,000	篤志寄付27件
雑収入	2,080	保険料返金
利息	71	預金利息（35+36）
収入合計	1,863,843	

収入1,863,843円－支出894,843円
＝969,000円

【支出の部】

（単位円）

項目	金額	備考
保険料	340,500	平成25年度自治会保険料
印刷代	34,000	夜久野ふるさと基金だより(H24年度)
会葬事務	57,750	会葬はがき・封筒各3,000枚
粗品代	30,000	線香セット(お供)60セット
寄贈品	350,593	夜久野学園・上・下夜久野保育園・夜久野地域公民館運営協議会
修繕費	12,000	学園誘致懸垂幕
事務費	50,000	事務委託費
事業支援	20,000	福知山防犯推進委員協議会夜久野支部会
支出合計	894,843	

次年度繰越金予定額 969,000円 会計 新宮 春雄

年度末の決算につきましては、後日「夜久野ふるさと基金だより」にて報告いたします。

夜久野町の人口は 平成26年2月末日現在

- ☆人口 3,894人（－104人）
（男）1,829人（－42人）
（女）2,065人（－62人）
☆世帯数 1,620戸（－11）
（ ）内は昨年同期

（市人口統計表による）



- 篤志ありがとうございました。
- ☆平成二十五年十二月
亡妻 養育 青山 高明様 留上町
- ☆平成二十六年一月
亡妻 養育 衣川 和正様 下町
亡妻 養育 赤井 勇雄様 小畑
亡妻 養育 高原 俊三様 永坂

ふるさと基金
まごころ銀行

編集後記

ソチ冬季オリンピックでの日本選手活躍に感動し、胸が熱くなりました。夢を持つことの大切さや、その夢の実現のために地道に一步一步努力することの尊さ、そしてそれを支える家族の愛情や周囲の人々の励ましと思ひやりの心がいかにか大事かを教えられました。夜久野地域全体が、子供たちが夢を育み実現するための家族のような存在であってほしいと願っています。

昨年四月に小中一貫校として夜久野学園が開校し、未来を拓く子供たちの新しい教育がスタートしました。夜久野の教育の特徴は、なんと言っても子供たちの健やかな成長を願う地域の皆さんの力強く暖かい支援です。自治会や公民館をはじめ、いろいろな団体の積極的な支援や応援があり、学校、子供、地域が一体となって取り組んで来られました。この特長を継承し、さらに発展させいく必要があります。『夜久野自治会だより』が学校と子供たち、そして地域の皆さんと皆さんの心を温かく結び情報誌になればと思い取り組んでまいりました。本号が本年度の最終号となります。自治会だより発行のために多くの皆様方から原稿や写真をお寄せ頂き、また協賛金をご提供いただきました企業関係者の皆様に心から厚く御礼申し上げます。一年間の『夜久野ふるさと基金だより』の活動に感謝の気持ちを込めてお礼申し上げます。